

## 院内報「みらい」(『ヘルニア』は治る?)

腰が痛かったり足がしびれたり、頸から肩、手にかけて痛みやしびれが起こる病気に椎間板ヘルニアがあります。腰椎の椎間板ヘルニアはよく知られていますが、頸椎や胸椎の椎間板ヘルニアもあります。この病気は椎間板が本来の位置から出っ張ることにより神経を圧迫し痛みやしびれの症状がでる病気です。

普通のレントゲンでは椎間板や神経が写らないために、レントゲンを利用したCTやレントゲンではなく磁力によるMRIと呼ばれる器械で調べ診断します。MRIではさらに出っ張りなどの形の異常だけでなく椎間板や骨の性状まで調べることが出来ます。以前は入院しなければ出来なかった検査が痛い思いをすることなくすぐ出来るようになったのです。ところがすぐに何度でも検査が出来るようになったために今までわからなかったことがいろいろわかってきました。

その一つは、椎間板ヘルニアは自然になくなる事があることです。患者さんに説明する時に、痛みは今出たものでも、椎間板が出っ張ったのはずっと前の可能性があることや、椎間板が出っ張っている間はずっと痛みがあるものではなくヘルニアがあっても痛みはなくなる事が多い事は以前から説明していましたが、MRIの普及によりヘルニアがなくなることもあるのがわかってきました。最近では、MRIでどのように写った時のヘルニアなくなるのかも解明しつつあります。

椎間板ヘルニアと診断されるとすぐに手術を想像される患者さんも多いようですが実際にはヘルニアと診断された人の内の95パーセント以上の方は手術することなく治ってしまいます。ヘルニアは治らなくても(なくならなくても)症状の痛みはとれることが多いのです。

院長 木内 哲也

